

人気ライバーもものすけ応援企画スタート! / 小室佳代さんNY生活への期待

スクープ! 別居報道が飛び交う中
35歳下の美人エステティシャンが告白

ダウンタウン



浜田雅功
との「パパ活不倫」

熱愛
スクープ



King Gnu
井口理
遠距離恋愛
を实らせ
堂々交際宣言

超ボリューム
オリジナルDVD **100**
分



豪華
2大付録
沢口愛華
オリジナル
ステッカー

FRI
スクープ&セクシー満載!
豪華2大付録つき
特大合併号
DAI
フライデー

10代最後のメモリアルセクシー
沢口愛華
グラビアデビューから5年

3/3・10 特別価格650円

突然の侵攻から1年 激動のウクライナ

本誌特派カメラマンが撮った
「元ヤクザ」最前線のいま。
日本人義勇兵が語る
「戦う理由」

密着ルポ 戦禍を逃れた2291人のドラマ
「ウクライナ難民」
日本での本当の生活

スペシャルインタビュー

爆笑問題 **太田光**
「我ながらダサイコメディアンになっちゃったな」

ハリコミ24 SPECIAL
北川景子&南沙良 山下智久
安藤サクラ 佐藤 健 新井美羽
山田孝之&高良健吾

ワクチン優先接種で炎上したあの城里町長が
今度は交通事故で「トンデモ対応」



澄田綾乃

もものすけ



帰宅姿を
キャッチ

小室佳代さん
「愛息とNY生活実現」のウルトラC



今春、続々退社
人気アナの初々しい素顔

日銀新総裁内定
投資のプロが厳選
「超おススメ銘柄60」

決算シーズに到来！ 投資のプロが厳選 今注目の「超おススメ銘柄60」

日銀新総裁内定で株価は弱含み、3月末の配当権利確定日に向け、今が仕込み時
高配当に期待の乾汽船、高齢化で引き続き注目のユニ・チャーム、成長著しいエディアほか



次期日銀総裁に就任予定の植田和男氏(66歳撮影)。黒田東彦総裁(78)が続けてきた金融緩和路線を継承するの注目

海外進出を拡げるユニ・チャームの高原繁久社長(60)。コロナ禍のマスク需要や生理用品におむつも海外で人気



NFTアイドルプロジェクト「私立好ヶ丘女子高等学校てづくりアイドル事務所」を制作するエディア



乾汽船は業界8位の海運会社。営業利益率は30%台と高く、21年に上場来高値更新。権利確定日前に買集まる

株式市場は決算ラッシュを迎え、株価が乱高下した銘柄もあった。だが目下では、今年4月から日本銀行新総裁に植田和男氏(66)が起用されることが報じられ、市場全体には、様子見の空気が流れている。一時的な弱含みと言えざるを得ない。これからグングン伸びる株を買っておきたい時期だ。投資のプロに「今年の推し銘柄」を聞いた。

まずは、高配当を受け取れる銘柄を挙げていこう。年度末である3月に、配当をもらえる権利が確定する「権利確定日」を迎える銘柄が多い。安定した配当で人気が高いのは、銀行株だ。マーケットバンク代表の岡山憲史氏は言う。

「昨年12月に日銀が大規模金融緩和を修正する方針を発表したところ、三菱UFJフィナンシャル・グループをはじめとするメガ3行の株価が上がりました。メガバンクはファンド買いが期待でき、価格の割に高い利回りが特徴です。投資初心者にもおススメしやすい銘柄と言えるでしょう」

配当を出し続けているのは、企業に底力がある証拠だ。証券アナリストの今野浩明氏は、「連続増配」を続ける企業の株式がベターだと言う。

「総合リース大手の三菱HCCキャピタルは、23年3月期で24期連続の増配を達成

する予定です。また、衛生用品で有名なユニ・チャームも22期連続の増配を発表しています。高齢化も相まって、介護用のおむつは景気に関係なく国内外で需要が伸びています」

知る人ぞ知る「超おトク配当銘柄」はないだろうか。個人投資家で、億り人を達成した東条駿介氏が解説する。

「海運関連は高配当銘柄が多いですが、その中であまり知られていないのが乾汽船です。今年3月末の予想1株配当は17円で、今1単元(100株)買えば2万円弱が手に入ります。権利確定の期日が迫ると値上がりしてくるはずなので、早めの購入をおススメします。NISA口座の活用にも適した小型株では、ゴルフクラブのシャフトを設計するグラフィイトデザインが1押しです。1株50円の配当で、1単元買えば5000円の配当がもらえます。コロナ禍で広がった、ゴルフ人気が続いているのもプラス材料と言えるでしょう」

値上げラッシュが株価に影響

企業経営が安定している銘柄は、株価が急落するリスクが比較的少なく、投資ポートフォリオの軸になる。その中で今年、大きなトピックがあるのは化粧品業界だ。前出・岡山氏は言う。

「今年3月から、マスクの着用が個人の判断に委ねられます。化粧をする人が増え、インバウンド需要でコスメや健康食品の売り上げ増加に期待です。化粧品最大の資金生家は、海外でのM&Aも積極的に世界的なブランド力を高めています。中国で人気のファンケルや、ポーラ・オルビスホールディングスなどの健康食品に力を入れる企業も業績アップの可能性があります」

「自動車用品の開発・販売を総合的に行う中央自動車工業が狙い目です。主力のボディーコーティングは利益率が高く、さらに無借金経営。株価は割安なので、増配されると予想して買ってみるのも選択肢のひとつです。また、世界トップの高級ヘルメットメーカーであるSHOEIも推奨できる銘柄です。高品質で競争が少なく、円安メリットを受けて海外での売り上げを伸ばしています。安定性を求めるのであれば、同社のように競争が少

目指せ配当貴族 鉄板の20銘柄

銘柄・市場・コード	株価	寸評・選者	成長性	安定性	配当力
三菱UFJ FG 東証P・8306	966円	国内最大の民間金融グループ。22年3月期の配当は16円を予想。メガバンクの株価は今年に入って上昇基調で、配当だけでなく売却益も期待できるセクターに(岡山、窪田)	C	B	A
三井住友FG 東証P・8316	5777円	メガバンクの一角を担う高配当銘柄。日銀が黒田総裁から植田総裁に代わったのち、大規模緩和と政策がどう変化するかに伴って同行の株価も大きく変化するのは(岡山)	C	A	A
みずほFG 東証P・8411	2106円	不祥事続きだったが銀行株の上昇を受け、株価は回復。期末配当は42.5円で、2期連続の増配に。預金の金利よりも配当収入で稼ぐほうがはるかに大きい金額になる(岡山)	C	A	A
ディア・ライフ 東証P・3245	620円	不動産に関する総合デベロッパー。ファンド運営や人材派遣なども手掛ける。都心に特化した強い事業基盤を持ち、不動産市場況値上がり追い風に急拡大している(竹内)	C	A	A
ノバック 東証S・5079	2572円	社会インフラの建設工事が基幹事業。5%近い配当利回りが魅力的で、今後相場が荒れた際にも株の下支えになりそう。有利子負債0で好財務なのもポイント(竹内)	C	A	A
中山製鋼所 東証P・5408	1008円	戦前から続く大阪の鉄鋼メーカー。経営危機を乗り越え、2期連続の増配予想。世界的な鉄鋼株人気が続く、中山製鋼所もその流れに乗った。パリュウ株なの魅力(竹内、田嶋)	C	A	A
住友商事 東証P・8053	2353円	住友系総合商社。配当利回りは5%弱。今年も商社株が物色されているが、商社の中では比較的業績が分散されている。リスクの少ない投資候補にできる(窪田、今野)	B	B	A
JT 東証P・2914	2667円	高配当株の代表銘柄。たばこ産業のため株価の評価が低めだが、業績は底堅く安定している。懸念されていたロシア関連の事業の混乱も大きな影響はなかった(窪田)	C	B	A
ソフトバンク 東証P・9434	1526円	「ソフトバンク」「ワイモバイル」を展開する通信会社。事業が安定していて、配当性向が80%近くもある。他の通信関連株と比べて配当利回りが頭抜けている(窪田)	C	A	A
SUMCO 東証P・3436	1894円	半導体メーカー向けシリコンウエハ製造世界首位級。半導体はコロナ後特需の反動が来て鈍っているものの、その川上の企業は今価格に転嫁でき、潤っている(窪田)	C	A	A
日本特殊陶業 東証P・5334	2608円	自動車用のプラグや酸素センサーで世界のシェアをほぼ独占。自動車生産が徐々に回復し、連続最高純益。23年3月期の年間配当は166円を計画している(田嶋、佐藤)	B	A	A
リョービ 東証P・5851	1220円	世界トップクラスのダイカスト(鋳造技術)メーカー。足元で主力のダイカストが自動車生産復調で増産。モノの重量を軽くする技術はEVの性能向上に役立てられる(田嶋)	B	A	A
伯東 東証P・7433	4555円	電子・電気機器、電子部品を取り扱う独立系のエレクトロニクス専門商社。工業薬品事業も手掛け、化粧品基剤なども製造販売。23年3月期の年間配当は250円を予定(田嶋)	B	B	A
乾汽船 東証S・9308	1959円	海運で業界8位。23年3月期末配当は177円を予定しており、最低配当6円まで保証されている。3月末が権利確定日で、配当狙いで仕込むのもひとつの手だ(東条)	B	B	A
日本食品化工 東証S・2892	3220円	コーンスターチ製造で安定のシェア。三菱商事が親会社で、キリンビールや日本コカ・コーラが主な取引先。3期連続で増配を発表している「隠れ好成績銘柄」だ(東条)	B	B	A
大和工業 東証P・5444	5080円	独立系電炉大手で、H形鋼の製造ノウハウあり。韓国やタイなどアジアでの販路に強みを持つ。大幅な配当引き上げも発表されており、高配当銘柄の定番になるかも(東条)	B	B	A
グラフィイトデザイン 東証S・7847	925円	ゴルフクラブのシャフトを製造。独自のカーボン積層技術を持っている。1株50円の配当を予定しており、2月末に権利確定日を迎えるので滑り込み配当を狙える(東条)	B	A	A
三菱HCキャピタル 東証P・8593	671円	リース大手。三菱系列でもトップクラスの経営基盤と社会的信頼性を誇る。24期連続の増配を発表しており、1000円以下の低位株の中でも有数の高配当銘柄だ(今野)	B	A	A
ユニ・チャーム 東証P・8113	5066円	国内紙おむつ、生理用ナプキン、タンポン、ペットケア、大人用おむつで絶大なシェア。海外進出にも積極的。景気の影響を受けにくく23年12月期で22期連続の増配(今野)	B	A	A
三ツ星ベルト 東証P・5192	3715円	伝動ベルトなどを製造販売するゴムメーカー。23年3月期は3期連続の増配で240円に。利益のすべてを配当に充て、配当性向100%になったことで株価が上昇中(佐藤)	C	B	A

※株価は2月13日終値。東証P=プライム、東証S=スタンダード、東証G=グロース。成長性(売り上げが伸びるか)、安定性(企業経営が安定しているか)、配当力(配当利回りの高さ)をA~Cの3段階で識者が評価

大化けに期待 プロ厳選の成長株20銘柄

銘柄・市場・コード	株価	寸評・選者	成長性	安定性	配当力
monoAI technology 東証G・5240	1609円	メタバース事業として、イベント用仮想空間の開発・運営を行う。昨年12月新規上場。市場は今年ハイテク株買いに転換し、先進技術を持つ同社に注目が集まる (岡山)	A	B	C
BEENOS 東証P・3328	2316円	越境ECのリーディングカンパニー。世界と日本を双方に繋ぐグローバルコマースを運営。円安で海外からの需要が増え、ブランド品買い取り販売が好調 (岡山)	A	B	C
システムサポート 東証P・4396	1680円	情報通信技術を活用したシステムコンサルティング、企画開発、運用保守等を支援。クラウド基盤移行や企業向けクラウドサービス導入の受注は今後も拡大する(岡山)	A	B	C
KeePer技研 東証P・6036	3370円	カーコーディング、洗車用機器の開発・製造・販売。専門店「キーパーラボ」の新規出店を進め売上好調。競合不在で価格競争も無く営業利益率は約3割と高い(竹内)	A	A	C
マークラインズ 東証P・3901	2670円	自動車業界特化のWeb情報サービスを軸に、コンサル、人材紹介、広告等を展開。情報の質は高く、企業との年間契約で売上は安定しつつ他社の参入を許さない(竹内)	A	A	C
グッドスピード 東証G・7676	1996円	SUV特化の中古車販売。廃業相次ぐパチンコ店の居抜きを利用し新規出店のネックとなる高い初期投資を圧縮。5年平均の売上高成長率は20%以上を維持する(竹内)	A	B	C
ソシオネクスト 東証P・6526	8380円	富士通とパナソニックのロジック半導体事業が15年に統合し、昨年10月に新規上場。期待通りに値上がりが続く。プライム市場で最も勢いのある銘柄 (田嶋、今野)	A	B	B
M&A総合研究所 東証G・9552	8510円	M&A仲介が柱。ゼロゼロ融資の返済が今後本格化し需要高まる。人気の再就職先で、経験豊富なM&Aアドバイザーが増加。成約単価の上昇も続く(田嶋、東条、村田)	A	A	C
マクニカHD 東証P・3132	3465円	国内首位級の独立系半導体事業会社。好採算の産業機器向け、車載向けの強い引き合いが続く。予想配当利回りも3.7%と高く、自社株買いなど株主還元も積極的(田嶋)	A	A	A
日本トリム 東証P・6788	2767円	国内最大手の整水器メーカー。子会社のステムセル研究所は国内最大の民間帯血バンクになっている。今期配当は120円、利回り4%台と高配当銘柄でもある(東条)	B	B	A
霞ヶ関キャピタル 東証G・3498	4105円	不動産コンサルティング事業。着手金など無料の完全成功報酬制。物流施設などを投資家向けに開発・運用。再生エネルギー事業にも注力している(東条、今野)	A	B	C
ビジョナル 東証G・4194	9120円	管理職や専門職などに特化した会員制転職プラットフォーム「ビズリーチ」を運営。国内外でライブ配信やグッズ販売が伸びている。株価が急落しており、買い時(今野、佐藤)	A	A	C
ANYCOLOR 東証G・5032	4830円	昨年6月に新規上場したVtuberビジネス会社。人気グループ「にじさんじ」を運営。国内外でライブ配信やグッズ販売が伸びている。株価が急落しており、買い時(今野、佐藤)	A	C	C
エディア 東証G・3935	727円	ゲームやコミック等IP(知的所有権)を企画・開発・運営。Vtuberや声優とコラボしたアイドルプロジェクトが材料視され、続伸中。ヒットすれば大化けも期待(村田)	A	B	C
ワイエイシイHD 東証P・6298	2223円	産業機械装置のメーカーグループ。ディスプレイが採算改善し黒字化。パワー半導体向け製品も復調し、創立50周年記念配当の実施で今期配当を25円増額(村田)	A	B	B
セルシード 東証G・7776	338円	東京女子医大発のバイオベンチャー企業。細胞シート培養による細胞加工受託と再生医療開発が柱。上場後安値スタートから、今年1月の全市場値上がり率1位(村田)	A	C	C
広済堂HD 東証P・7868	1999円	情報・人材・葬祭の3事業が経営の柱。都内6火葬場・総合斎場を持つ東京博善で23区の火葬の7割を占める。大株主に麻生太郎元首相の家業「麻生」の名前も連なる(村田)	A	B	C
サイバーエージェント 東証P・4751	1205円	ネットテレビ「ABEMA」はW杯の無料生中継で視聴者数を伸ばす。今年9月に株主優待を新設。「ウマ娘」がピークアウトし株価の調整が続く今が買い場と見る(窪田)	A	B	C
エムスリー 東証P・2413	3527円	医療従事者向け情報サイトで製薬会社の情報提供支援。一時1万円を超えた株価は半値以下に調整されるも成長力は健在。米国利下げの局面で再注目される(窪田)	A	A	C
unerry 東証G・5034	2493円	スマホアプリで取得した人流データを解析し、マーケティングや街づくりに必要なサービスを提供する企業。昨年7月に新規上場。さらなる業績拡大に期待(佐藤)	A	B	C

※株価は2月13日終値。東証P=プライム、東証S=スタンダード、東証G=グロス。成長性(売り上げが伸びるか)、安定性(企業経営が安定しているか)、配当力(配当利回りの高さ)をA~Cの3段階で識者が評価



動画配信事業に投資するサイバーエージェントの藤田晋社長(49)。創業25年目にしておもむくしを満喫

もう1社挙げるとすれば、M&A仲介のM&A総合研究所です。コロナ融資の返済が本格化し、M&A件数は増えます。キャリアのある社員の転入も増えており、業界最大手に躍り出る可能性があります。こちらも昨年6月に東証グロス市場にIPO(新規株式公開)した新進鋭の企業です」

「私が大化けを期待しているのは、ゲームメーカーのエディアです。ゲーム業界は1作が当たると大きい。NFTと仮想空間上のアイドルを組み合わせた「私立好ヶ丘女子高等学校」でつくりたいアイドル

事務所」がリリース間近で、ヒットすれば株価時価総額が低いため急騰の可能性が高い。エディアは赤字が多いゲーム業界で2期連続黒字の見通しで、新作が当たらないとしても許容できる株価です」

も追随するように値上げを発表しています。消費者にとってはマイナスですが、企業にとっては従業員の待遇改善や売り上げアップに繋がります」

「去年は米国の金融引き締めも影響して、いわゆるグロス株が売られやす傾向にありました。株価が安くなりすぎている銘柄を狙う「バーゲン・ハンティング」をするのも手です。日本株では、昨年サッカーW杯の無料ストリーミング中継で話題になったサイバーエージェントを推します。「ウマ娘 プリティーダービー」のヒットで迎えた上場後高値から現在は半値ほどになっていますが、動画配信の成長が続けば株価は見直され

る可能性があります。同様に、医療従事者向け情報サイトを運営するエムスリーも、コロナで注目を集めた一時期から3分の1程度の株価まで下落しています。医療のデジタル化はブームではなく、今後進む一方なので、将来が楽しみな企業です」

「昨年10月の上場以来値上がり続けている、東証プライム市場の注目株がソシオネクストです。富士通とパナソニックの半導体部門が統合してできた企業で、チップ1枚ですべてのシステムを動作させる次世代の半導体を作っています。大手2社のいいところ取りで、同社の成長性は非常に高いと考えています。」

安定志向で楽々投資の20銘柄

銘柄・市場・コード	株価	寸評・選者	成長性	安定性	配当力
ファンケル 東証P・4921	2657円	無添加化粧品、健康食品が主力。マスク着用義務が終了し化粧品の需要が高まる可能性大。中国ゼロコロナ政策終了で増加した訪日中国人による爆買いも期待できる(岡山)	B	A	B
資生堂 東証P・4911	6320円	化粧品国内最大手。高価格帯スキンケアの強化に注力。海外M&Aも積極化。1月、9年ぶりに社長交代。中国大型ECセールの参入規模を見直し収益性改善を図る(岡山)	B	A	B
ポーラ・オルビスHG 東証P・4927	1756円	化粧品大手。高級品のポーラ、通販のオルビスがブランドの軸に。中国の都市封鎖で苦戦していたポーラの客足改善が進む。オルビスも新製品効果で回復基調(岡山)	B	A	B
中央自動車工業 東証S・8117	2508円	自動車ケア用品の開発・販売。新車のボディコーティングが主力。自己資本比率は80%台を誇り財務健全性は高い。無借金経営で配当性向も高く継続的な増配も(竹内)	B	A	B
全国保証 東証P・7164	5020円	住宅ローン向けが柱の独立系の信用保証最大手。堅い経営で12年の上場以来、3~5%の増収増益を繰り返し、連続増配を続けるなど、投資家からの信頼は厚い(竹内)	B	A	B
SHOEI 東証P・7839	4905円	世界トップの高級ヘルメットメーカー。海外売上比率が高く円安が追い風。競合少なく価格競争に巻き込まれない。自己資本比率は70%台で、財務健全性も高指標(竹内)	B	A	B
アダストリア 東証P・2685	2148円	カジュアルファッション専門店チェーン。コロナの影響が薄れ客足の戻りが想定を超える。「フォーエバー21」のライセンスを取得し2月から国内販売を再始動する(田嶋)	B	A	B
バルグループHD 東証P・2726	2725円	約50のアパレルブランドを扱うほか、300円ショップ「3 COINS」など複数の業態を展開。「ユニバーサル」のキャラグッズ店を今春原宿に出店予定(田嶋)	A	A	B
DMG森精機 東証P・6141	2060円	工作機械事業大手の一角。EVや航空産業向けの需要活況。連続最高純益で増配続く。「23年12月期は期初から受注残が高水準で純利益は過去最高を更新する見通し(田嶋)	B	A	A
セーレン 東証P・3569	2466円	総合繊維メーカー。世界的な脱炭素化、車体軽量化の流れを受け、EV向け合成皮革シート材の販売好調。「24年3月期も取引先の増産、採用車種増加で拡大が続く(田嶋)	B	A	B
住友電気工業 東証P・5802	1638円	自動車用ワイヤーハーネスや通信ケーブルなど国内最大手の非鉄金属メーカー。自動車のハイテク化が進み、ワイヤーハーネスの需要は今後伸びる見込み(田嶋)	B	A	A
信和 東証S・3447	817円	岐阜本社の仮設資材の会社。物流関連の製造販売も。建設現場向けロック機能付き「次世代足場」が売り上げを牽引、海外展開も。3月期は減配もいまだ高配当(東条)	B	A	A
村田製作所 東証P・6981	7501円	電子部品大手。世界首位のセラミックコンデンサが柱。5G時代の本格化で各種デバイスに搭載される部品数が増えている。今後のハイテク株見直しの前に仕込む(今野)	B	B	A
日本電信電話(NTT) 東証P・9432	3860円	最大手の通信事業グループ。傘下に移動通信のNTTドコモ、システム開発のNTTデータ、国際通信のNTTコミュニケーションズなど。12期連続で増配を予定(今野)	B	B	A
ステラケミファ 東証P・4109	2467円	フッ素化合物メーカー。半導体向けエッチング剤や洗浄剤に必要なフッ素化合物を軸とする高純度薬品で世界シェア8割。足元の市況が弱い今は買い時と言える(今野)	A	B	B
SERIO HD 東証G・6567	743円	既婚女性中心の就労・育児支援会社。「最重要課題」と岸田政権が掲げる、少子化対策・子育て支援銘柄のひとつ。これを追い風に、昨年来高値782円の更新をうかがう(村田)	A	A	B
JP HD 東証G・2749	321円	首都圏を中心に認可保育所、学童クラブを運営。今年1月、岸田総理が少子化対策の拡充を打ち上げると、真つ先に反応。東京都の独自政策で値上がり期待も(村田)	A	A	B
芙蓉総合リース 東証P・8424	9010円	みずほ銀行(旧富士銀行)系の総合リース会社。積極的に企業買収を行っており、エネルギー環境、不動産など成長領域拡大で18期連続増配している。「23年3月期の配当は316円(佐藤)	B	A	A
加藤産業 東証P・9869	3540円	食品卸業界第4位。関西に強い地盤を持ち、全国展開。経済成長に伴い小売市場が拡大するアジア地域にも進出。7期連続増益見通し、連続増収企業でもあった(佐藤)	B	A	B
福山通運 東証P・9075	3360円	大手運送会社。宅配便第5位。大手2社が個人利用の宅配便の値上げを表明し、同社も積み合わせ運賃を10%引き上げ。「23年3月期配当は前期より10円増額の70円(佐藤)	B	A	B

※株価は2月13日終値。東証P=プライム、東証S=スタンダード、東証G=グロス。成長性(売り上げが伸びるか)、安定性(企業経営が安定しているか)、配当力(配当利回りの高さ)をA~Cの3段階で識者が評価